防衛機制の適度な利用 ＝ 嫌なことにも向き合える「知恵」＝

定期考査明け最初の「新聞コラム感想・意見」に、6月3日付けの天声人語『大学生がはじめた無料塾』を選んで書いてくる子が何人もいました。話題が身近なもので自分事としてとらえやすかったからかもしれません。「その場を支える人情と思いやり」「現在の自分の周りの環境への感謝」「マイノリティーへの配慮が政治にも求められる」等々を中心にすえ自身の認識の広がり深まりが述べられていました。

その中で少し異色ですが、定期考査を終えたところのタイムリーで愉快な感想意見がありましたので紹介します。

「やる気があるから学力が伸びる」という。勉強にやる気を起こすにはどうすればいいのだろう。

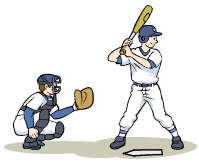
今、勉強に対してやる気は起こっていない。しかし賢い人への憧れはある。知識や知恵をたくさんもっていると、いろんなトラブルにあったとき解決できそうだし、人生の中で持つことができる知恵を持てないのはもったいないなと思う。**今日は、そう思ってテストの直しを解くことにしよう。**

勉強へのやる気はなかなか起きないけれど、賢くなることへの憧れはあるし、その機会を失うのはもったいない。そう思って（自分に言い聞かせて）テスト直しをしよう！ということなのだろう。「知性化」や「合理化」に近い防衛機制の発動だと思われます。気の向かない勉強にもどうにか取り組める、まさに「知恵」だなと思いながら読ませてもらいました。

皐月 定例一行詩から

一年生

・皐月来し　毎日燕の　お出迎え
・外に出ると　ふわっと空気が温かい
・風さわやか　はじめての校外学習で友達ふえる
・なつかしく背負ってみる　ランドセル
・先輩の名前　呼び方慣れない　「ちゃん」から「さん」へ
・一日で　一番きつくて楽しい　部活動
・入部した　次の日土曜日　部活動
・一週間　月水土日が　楽しみだ
・基礎テスト　合格目指してひたすら書いた夜
・基礎テスト　覚えて覚えて　成果出す
・基礎テスト　友達と問題の出し合いっこ
・夜の外のにおい　だんだん夏のにおい

二年生

・先輩と呼ばれて　三秒後に振り返る
・部活中　先輩と呼ばれて　浮かれる私
・基礎テスト中　みんなのペンの音にあせる
・一年生　元気すぎて　とてもまぶしい
・校外学習　みんなで飲む瓜割りの水　いつもよりおいしい
・ツーデーマーチ　友人と歩く　特別な一日
・正式入部　頭の中で始める　名前当てゲーム
・基礎テスト　根拠のない自信が手を動かす
・いきなりの暑さで　制服を恨む
・尊敬の目で見る　一年ぶりの扇風機